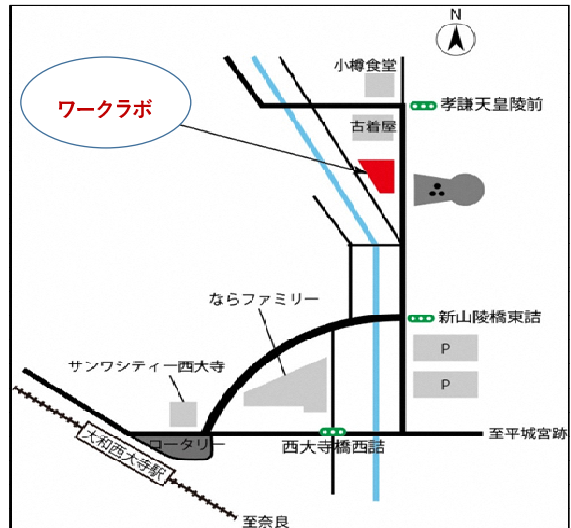


NPO 法人ならサポートワークラボ



所在地 奈良県奈良市山陵町110-7
 アクセス 近鉄大和西大寺駅より徒歩7分
 ホームページ <https://naraworklab.com>



団体情報

■ こんな人のために	ニート・ひきこもり状態にある方や障がいのある方など
■ こんなことができます	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、家から出て通う場所作りができます ・就職に向けた相談・支援を受けることができます ワード・エクセル・イラストレーターなどのPC操作、軽作業、農作業、清掃作業、コミュニケーション講座、ビジネスマナー講座、職業ガイダンス など

お問い合わせ

■ 電話	0742-93-4035	月～金 9時～17時
■ FAX	0742-93-4034	
■ メール	w-lab@sky.plala.or.jp	
■ 担当者	小島 秀一	

団体の特色

<p>■ 沿革</p>	<p>平成 27 年 4 月 NPO 法人設立 5 月 ニート・ひきこもりの方への相談開始 6 月 就労移行支援事業所「ワークラボ」開始 11 月 指定特定相談支援事業所「わーく」開始 平成 30 年 10 月 自立訓練(生活訓練)事業「ワークラボ」追加 平成 31 年 4 月 就労定着支援事業「ワークラボ」追加 令和元 年 10 月 生活困窮者就労訓練事業開始 令和 2 年 4 月 職場適応援助者(ジョブコーチ)開始</p>	
<p>■ 活動理念</p>	<p>障害のある方や生きづらさを感じている方が、自分に合った働き方を見つけ、働き続けられるように支援をします。仕事をする力を身に付けることはもちろん、社会生活で求められるコミュニケーション力や自分を知るための支援などを通じて、自分に合った働き方を見つけていく支援を行う特定非営利活動法人です。</p>	
<p>■ 活動の特色</p>	<p>社会参加、就労ができるために必要な力を身につけます。できることから始め、できることをさらに伸ばす支援を行っています。個別支援プログラムに基づいて支援します。 長く働けるための力を付けます。就職者の定着率は約 9 割です。</p>	
<p>■ スタッフ</p>	<p>常 勤</p>	<p>男性 2 名 女性 6 名</p>
	<p>非常勤</p>	<p>男性 0 名 女性 1 名</p>
<p>■ 現在の利用者 (R4 年 10 月現在)</p>	<p>性 別</p>	<p>男性 22 名 女性 6 名</p>
	<p>年 齢 層</p>	<p>10 代 4 人 / 20 代 16 人 / 30 代 2 人 / 40 代 3 人 / 50 代 3 人</p>

支援内容、費用など

<p>■ 面接相談について</p>	<p>無料です。 社会参加(就職含む)したい(してほしい)けどどうしたらよいのかわからないなど、漠然とした内容から相談を受けています。相談支援経験 40 年以上の経験豊富な者が対応します。まずは、ご家族の方の見学や相談からも始められます。</p>
<p>■ 訓練内容</p>	<p>個別カリキュラムによる訓練を行います。 パソコン講習：Word・Excel 基礎・応用講座、コンピュータ・インターネット入門講座、パワーポイント・Access・ホームページ作成講座、PC 検定取得コースなど 事務作業：データ入力課題、PC 実践課題、作業日報集計作業など 軽作業：組立・分解作業、検品作業、ピッキング作業、など 農作業、チラシ配布作業、お店の清掃作業など</p>

<p>■ 就活支援</p>	<p>就活準備：コミュニケーション講座、職業ガイダンス（履歴書・職務経歴書）、ビジネスマナー、自己分析・自己理解支援、企業分析支援など 就活支援：職場見学、職場実習、面接練習など</p>
<p>■ 利用時間</p>	<p>9時30分～16時00分のうち、相談して個別に決めます。 お昼休みは12時～13時です。</p>
<p>■ 費用</p>	<p>利用料は、体験時は無料です。利用決定時から半日1,000円（1日1,500円、応相談）となります。ただし、障害者手帳を所持されている、自立支援医療を利用されている、生活困窮者就労訓練事業（奈良市除く）に登録している、発達障害の診断を受けている方は無料で利用できる場合があります。 交通費、昼食代等は自己負担です。 損害保険（月400円）に加入していただくことがあります。</p>
<p>■ イベント</p>	<p>2か月に1回程度実施、当施設利用後、就職された方にも声かけを行っています。利用者の方が幹事（希望者）になって企画・調整・実施をしています。</p>

メッセージ

<p>■代表から</p>	<p>まずは、週1日短時間から通うことができ、生活リズムを整えながらできることをさらに伸ばし、徐々に自信回復を図ります。次に働き続ける力（対人対応力など）を身につけ、その後就職支援を受けて働くことができた方がおられます。あきらめず、まずは一歩踏み出して見ませんか。支援します。</p>
--------------	--